

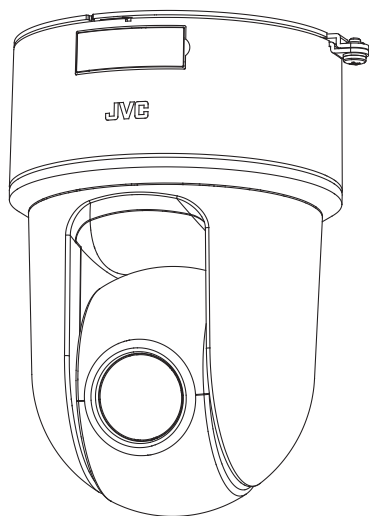
# JVC

## HDネットワークコンビネーションカメラ

---

型名 **VN-H557**

取扱説明書  
(設置/IP設定編)



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

# 安全上のご注意

**本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。**

## 十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分があるので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約 1.1 kg

強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。

## カメラを正しく取り付ける

必ず天井取付金具を使用してください。

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。

## 正しい電源、電圧で使用する

本機に電源を供給するには、AC 24 V 50 Hz/60 Hz、DC 12 V または PoE (IEEE802.3af) を使用します。正しい電圧で使用してください。

AC 24 V または DC 12 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。

## 定期的に点検してください

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないでください。過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。

本機を改造しないでください。事故の原因となります。

内部に物を入れしないでください。金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

# もくじ

## はじめに

安全上のご注意 .....	2
もくじ .....	3
特長 .....	4
正しくお使いいただくためのご注意 .....	5
添付物・付属品 .....	9
各部の名称 .....	10
SD カードについて .....	12
アラーム入出力信号について .....	13

## カメラの設置要件

動作環境 .....	14
ネットワークについて .....	14
映像について .....	16
設定ページの言語選択について .....	16
各ユーザーが使用できるページについて .....	17

## カメラの取り付け

設置・接続の準備 .....	18
カメラ本体の取り付け .....	20

## IP アドレスの設定

IP アドレスの設定手順 .....	21
Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定 ....	21
Step2 Internet Explorer の設定 .....	22
Step3 カメラとパソコンの接続 .....	23
Step4 カメラの IP アドレスを設定 .....	24

## その他

こんなときは .....	26
保証とアフターサービス .....	30
仕様 .....	31

# 特長

## PoE (Power over Ethernet)に対応

PoE (IEEE802.3af)をサポートしており、LAN ケーブルからの電源供給が可能です。

※ PoE (IEEE802.3af)対応のハブまたは給電機器を使用してください。

## デュアルストリーム・フルフレームレート配信の実現

フレームサイズ 1920×1080 と 640×480 のストリームを 30 fps で同時配信が可能です。

## マルチエンコード

高パフォーマンスエンコーダの搭載によって、同時に 3 エンコードが可能です。

## 高画質の実現

本機は、高性能 CMOS センサーと画面のザラつきを抑える 3 次元ノイズリダクションを搭載し低照度での高画質を実現しました。

1080P (1920×1080) の高精細フル HD 出力に対応しています。さらにメガピクセル (1280×960)、HD720P (1280×720)、D1 (720×480)、VGA (640×480)、HVGAW (640×360)、SIF (352×240)、QVGA (320×240) の各解像度による出力が可能です。

## X10 レンズの採用

光学 10 倍のレンズによって、きめ細かな監視が可能です。また、F1.8 (WIDE 端) と明るいレンズのため、カラーモード時 0.9 lx (AGC High, 50 %) の高感度を実現しています。

## 高速回転機構を装備

水平約 300 %/s、垂直約 170 %/s の高速回転によって、プリセットポジションへすばやく移動が可能です。(高速の場合)

## プライバシーマスク機能の搭載

撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。

## 動き検出機能搭載

設定したエリア内の映像の動きを検知し、アラーム出力することができます。アラーム入力によってプリポスト記録した JPEG 画像ファイルを FTP サーバーに送信できます。

## マルチキャストに対応

マルチキャスト対応によって、同じ画像データをネットワーク上の複数のパソコンへフレームレートを下げることなく一度に送信することが可能です。

## HTTP による API

HTTP による API を備えています。これを使用してネットワーク経由での設定・制御が可能です。

## 統合ビューワーソフト内蔵

カメラ映像 (JPEG または H.264) をパソコンでモニタリングするための統合ビューワーを内蔵しています。カメラの設定、制御も可能です。使いやすさを追求した GUI を採用しています。

## 音声の入出力可能

外部マイクを接続して音声をカメラからパソコンに入力できます。また、パソコンに入力した音声をネットワーク経由でカメラから音声を出力することもできます。


## SD カード記録機能の搭載

SD カードを使用して監視映像を記録したり、SD カードに記録した映像をネットワーク経由で見たりすることができます。

## この取扱説明書の見かた

- 本書は、本機の設置方法および IP アドレスの設定について説明しています。
- 付属 CD-ROM 内の取扱説明書には、本書に記載されている本機の説明や設置方法に加えて、Internet Explorer を使った設定および統合ビューワの操作についても説明しています。カメラの設定や統合ビューワの操作につきましては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」をお読みください。
- 付属 CD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)が含まれています。

## 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。  
 メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。  
 : 参考ページや参照項目を示しています。

## 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

# 正しくお使いいただくため のご注意

## 最新情報について

- 最新のファームウェアについては、弊社の Web サイトでご確認ください。  
(最新のファームウェアはダウンロードページに記載されています。)  
[http://www3.jvckenwood.com/pro/pro\\_download.html](http://www3.jvckenwood.com/pro/pro_download.html)
- ファームウェアのアップデートについては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[メンテナンス]ページのファームウェアの項目をご覧ください。

## 保管および使用場所

- VN-H557 は、屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- VN-H557 は、天井用または卓上用カメラです。必ずカメラの底面が水平になるように設置してください。傾けて使用すると正しく動作しません。
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、映像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。本機は本体表面から放熱を行なっています。
- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所、あるいは温度の高い所に設置しないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。誤動作や故障の原因となります。
  - 許容動作湿度(20%RH~90%RH)範囲外の湿度の多いところ(結露なきこと)
  - 変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 車両や船舶などの振動するところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 可燃性雰囲気などの特殊環境
  - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
  - プールなど、薬剤を使用するところ
  - 許容動作温度範囲外の暑いところや寒いところ

許容動作温度: -10℃~50℃

## 輸送について

- 本機の入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合は、この箱を使用してください。

## 移動について

- 移動するときは接続ケーブル類をはずしてください。
- 移動するときは、システム電源を切ってください。
- 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- 本機に振動や衝撃を与えないよういねいに取り扱ってください。

## 著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。

許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する場合、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。

また、被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、使用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

## 著作権について

- 本機で撮影したものを営業目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 撮影したものは、一部の例外を除き著作権上、権利者に無断で使用できません。

## お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり曇ったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、パン/チルト/ズーム/フォーカスの機構が早く劣化します。パン/チルト/ズーム/フォーカスの性能を維持するために、1週間に1回クリーニングを行うオートクリーニング機能を備えています。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「メンテナンス」ページの「オートクリーニング」をご覧ください。

## SD カードの取り扱いについて

- カメラ内部に物を入れないでください。SD カードスロットに SD カード以外の物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。
- SD カードを分解したり改造をしないでください。
- 本機の電源を切ったり、SD カードを取り出したりするときは、必ず[SD カード記録]ページで[マウント解除]ボタンを押してから行ってください。SD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりすると、カード内の記録データが破損します。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[SD カード記録]ページの「[SD カード]」をご覧ください。
- SD カードの記録データが破損している可能性があるときは、SD カードを本機から取り出し、必要な記録をバックアップしてください。そのあとに、SD Association が配布する SD フォーマッター(4.0 以降)を使用して SD カードをフォーマットし、本機に挿入してください。SD フォーマッターは、以下の Web サイトから入手できます。  
<https://www.sdcard.org/jp/downloads>
- SD カードには書き換え回数に上限があり、上限に近づくと記録や再生が正しく行なえなくなります。記録データの破損や再生異常があった場合は、SD カードを新品と交換してください。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管をしないでください。

- SD カードは正しい向きで挿入してください。間違った向きで、無理に挿入すると、本機や SD カードの故障の原因となります。  
(☞ p.12 [SD カードの挿入について])
- 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負いかねます。必要なデータは、パソコンなどにバックアップしてください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [SD カード] 操作画面の「[動画出力(Y/M/D-h:m:s)]メニュー」をご覧ください。
- SD カードに記録したデータを完全に消去したい場合は市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SD カードを金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。
- 使用条件の範囲で使用ください。次の場所では使用しないでください。
  - ・ 直射日光の当たる場所
  - ・ 熱機器の近く
  - ・ 炎天下の窓を閉め切った車の中
  - ・ 湿気が多い場所や腐食性のある場所など
- 曲げたり、落としたり、また強い衝撃や振動を与えないでください。
- 水でぬらさないでください。
- 接続端子部に触らないでください。
- 接続端子部にホコリやゴミ、水分や異物を付着させないでください。
- SD カードにはられているラベルをはがしたり、別のラベルやシールをはがたりしないでください。故障の原因となります。
- SD カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ずフェルトペンを使用してください。
- SD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- SD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。

## 免責について

- 動き検出機能、妨害検出および異音検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像および音声によってプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

## 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

## オートフォーカスについて

- 本機はパン/チルト/ズーム (PTZ) 動作の停止後にオートフォーカス動作を行うことができます。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [PTZ 制御] ページの「イージー AF」をご覧ください。
- カメラの設定、被写体や光源の状態によっては、イージー AF が合わせられない場合があります。この場合は、手動でフォーカスを合わせてください。
- オートフォーカスが合わせにくい被写体
  - ・ 画面の輝度が極端に高い(明るい)とき
  - ・ 画面の輝度が極端に低い(暗い)とき
  - ・ 画面の輝度が常に変化しているとき(点滅中のライトなど)
  - ・ コントラスト(明暗差)がほとんどないとき
  - ・ 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき
- オートフォーカスが動作困難な設定
  - ・ AGC で感度アップし画面がザラついているとき
  - ・ 電子感度アップで画面の動きが少ないとき
  - ・ 電子ズーム中で十分な輪郭成分がないとき

## ズーム動作について

- 以下の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
  - ・ 手動操作あるいはプリセット選択によって TELE 端付近でズーム動作が止まったあとに、フォーカスがかすかに動く。
  - ・ 手動操作中のズーム動作がなめらかでない。
  - ・ プリセット選択をしたとき、ズーム動作中、瞬間的にフォーカスがずれる。

## その他

- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。
- レンズを太陽などの強い光源に向けなくてください。故障の原因となります。
- 本機は AGC 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面にノイズが目立つ場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス“ATW-Narrow”、“ATW-Wide”、“ATW-Full”(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがあります。故障ではありません。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが 50 m 以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- 音声出力にて回転機構の水平/垂直回転時、ズーム時、電源 ON/OFF 時、SD 動作時に雑音が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高いとき、音声に雑音が目立つ場合がありますが、これは故障ではありません。
- 本機のパン可動範囲は $\pm 175^\circ$ のみです。どの機能においてもそれ以外の範囲で動作することはできません。
- 通電中に本機のパンやチルトが外部からの力で強制的に動かされた場合、元の位置に戻りません。その場合は再起動をおこなってください。
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 に準拠したネットワークスイッチを使用してください。
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 本機は電子シャッターを出荷時“1/30”に設定しています。商用電源周波数 50 Hz の地域で蛍光灯下(インバーター照明器はのぞく)では、ちらつき(フリッカー)を防ぐため“フリッカレス”に切り換えて使用してください。
- 画面上の暗い領域は、ざらついたり、白点が増えることがあります。また、カラー画像と白黒画像の切り換わり時に、画面の明るい部分が強調され見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 光源(照明など)の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これは内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。
- 特に TELE 端(望遠側)付近において、手動操作、オートパン動作をすると、画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。これらの現象はモーターの性能によるもので故障ではありません。
- 本機は高倍率レンズを使用しているため、温度変化によってフォーカスが甘くなる場合がありますが故障ではありません。
- フォーカスをプリセットする場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で、プリセットを行ってください。また、温度変化が大きくフォーカスが甘くなった場合は、再度プリセットし直してから使用してください。
- 使用中の温度変化によってフォーカスが甘く感じたときは、オートフォーカス機能を使用するか、手動操作でフォーカスを取り直して使用してください。
- 電源を切った状態や停電が長時間続いた場合は、本機内部の時計が大きくずれることがあります。そのような場合には、時刻を設定しなおしてください。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「時刻」ページをご覧ください。
- 統合ビューワーで視聴時に音声はずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 表示領域の広いモニターを使用した場合は、画面の外周部に線が見えることがあります。
- 卓上取り付け時に「取付姿勢」を“卓上”に設定した場合でも、モニター出力画像は上下反転した画像となります。
- 動きのある被写体をモニター出力で見ると残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- CMOS 撮像素子を使用した本機はローリングシャッター方式の防犯カメラです。旋回台に搭載した撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されます。



## 添付物・付属品

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラや録画機器の使用時、万一これらの不都合によって録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- 動き検出機能、妨害検出および異音検出機能は、簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。これらの機能で検出できなかった場合、または誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。  
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本機を取り付ける前に、以下の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

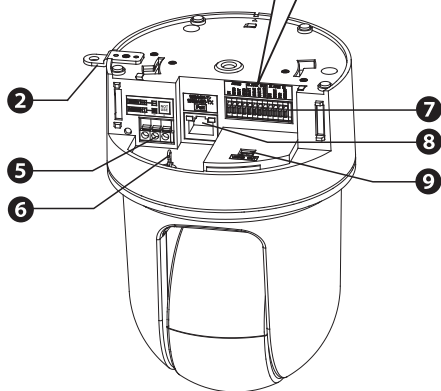
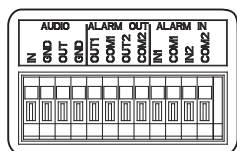
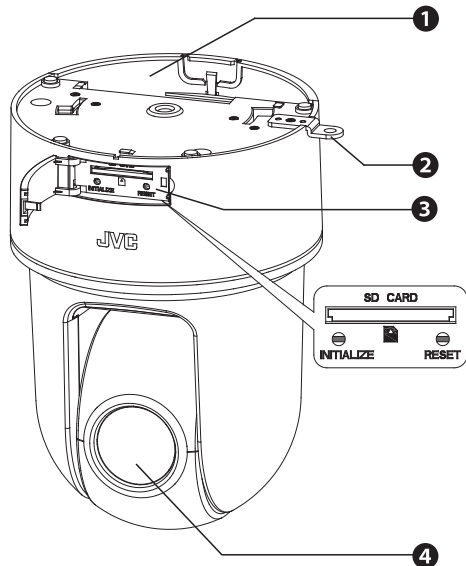
- 取扱説明書: 1
- 安全上のご注意: 1
- 保証書: 1
- テンプレート: 1
- CD-ROM: 1
- 天井取付金具: 1
- モニターケーブル(1 m): 1
- スクリュー(M4): 1

# 各部の名称

VN-H557

カメラ本体

はじめに



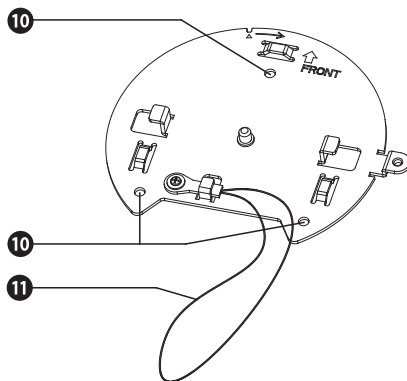
- ① ケーブルカバー  
設置・接続のときにケーブルカバーをはずしません。  
ケーブル類を横出ししてカメラを取り付けるときに中央の窓カバーをはずします。  
ケーブルカバーを取り付ける際に中央の窓カバーを引き抜いてそこからケーブルを通してください。
- ② アダプター  
カメラを天井取付金具に固定します。
- ③ SD カードカバー内
  - SD カードスロット  
SD カードを挿入すると、記録および保存ができません。  
(※ p.12 [SD カードの挿入について])
  - [INITIALIZE] (初期化) ボタン:  
5 秒間押し続けると、本機のすべての設定項目を工場出荷値に戻し再起動します。(初期化、および再起動には約 2 分かかります)  
[メンテナンス] ページの [工場出荷設定] を実行したときと同様の動作をします。  
[メンテナンス] ページの [工場出荷設定] については、付属 CD-ROM 内の [取扱説明書] で [メンテナンス] ページをご覧ください。
  - [RESET] (再起動) ボタン:  
本機を再起動します。(再起動には約 2 分かかります)  
[メンテナンス] ページの [再起動] を実行したときと同様の動作をします。  
[メンテナンス] ページの [再起動] については、付属 CD-ROM 内の [取扱説明書] で [メンテナンス] ページをご覧ください。
- ④ レンズ部
- ⑤ 電源端子、赤色 LED  
DC 12V 電源または AC 24V 電源を接続します。DC 12V 電源を接続するときは、+ を正しく合わせてください。  
電源が ON している間は赤色 LED が点灯します。  
黒い "NOT USE" 端子はご利用になれません。  
(※ p.18 [電源ケーブルを接続する])
- ⑥ 落下防止ワイヤー取付フック  
万一のカメラ落下に備え、このフックに本機の  
① 落下防止ワイヤーを取り付けます。

- 7 I/O コネクター  
音声ケーブルおよびアラーム信号ケーブルを接続します。

信号名
AUDIO IN
AUDIO IN GND
AUDIO OUT
AUDIO OUT GND
ALARM OUT1
ALARM OUT1 COM
ALARM OUT2
ALARM OUT2 COM
ALARM IN1
ALARM IN1 COM
ALARM IN2
ALARM IN2 COM

- 8 [10BASE-T/100BASE-TX]LAN ケーブル接続端子  
ネットワークと接続します。  
PoE (IEEE802.3af)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。  
(☞ p.19 [LAN ケーブルを接続する])
- 9 モニター出力端子  
付属のモニターケーブルを接続し、映像を出力します。

## 天井取付金具



- 10 固定用穴(3か所)  
天井あるいは、天井埋込ブラケット(WB-555 別売)などに取り付けるための穴です。
- 11 落下防止ワイヤー

# SDカードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内のSDカード(別売)に記録できます。

## 本機で使用可能なSDカードについて

SDカードは下記の仕様のものを使用してください。

- Class10 以上対応のSDHCカード(16GB～32GB)動作保証温度 85℃ 以上のもの

下記SDカードは本機に接続して、動作確認を行なっております。

- Panasonic RP-SDWA32GJK
- 東芝 SD-GU032G1
- SanDisk SDSDXPA-032G-J35

※ 上記条件を満たすSDカードすべての動作を保証するものではありません。

メモ： \_\_\_\_\_

- SDカードカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にごみが入り、故障の原因となる場合があります。
- 本機の電源を切ったり、SDカードを取り出したりするときは、必ず[SDカード記録]ページで[マウント解除]ボタンを押してから行なってください。  
詳しくは、付属CD-ROM内の「取扱説明書」で「[SDカード記録]ページ」をご覧ください。
- 動作確認していないSDカードを使用する場合は、記録設定できても正常に記録ができない場合があります。
- SDカードを取り出す場合は、SDカードを軽く奥に押し込むと、ロックがはずれて取り出せるようになります。勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- SDカードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- SDカードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。

ご注意： \_\_\_\_\_

- 本機ではSDカードがフォーマットできません。フォーマットするときは、SD Associationが配布するSDフォーマッター(4.0以降)を使用してSDカードをフォーマットし、本機に挿入してください。

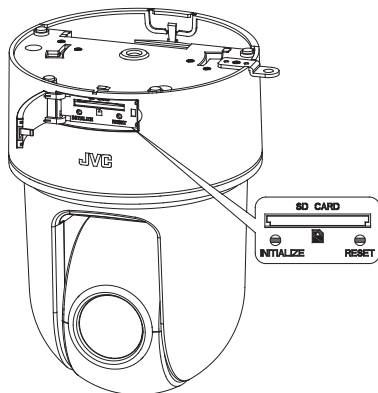
SDフォーマッターは、以下のWebサイトから入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/downloads>

## SDカードの挿入について

事前にフォーマット済のSDカードを別途用意してご利用ください。

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損する恐れがあります。SDカードの差し込み口の挿入マークにあわせて、正しい向きになっているか、必ずご確認ください。



## SDカードへの記録時間のめやす

以下の記録時間についてはめやすです。撮影環境や、お使いになるSDカードによって異なることがあります。

エンコーダーのビットレート設定	SDHCカード容量毎の記録可能時間 [時間]	
	16 GB	32 GB
64 kbps, CBR	458	915
128 kbps, CBR	229	457
256 kbps, CBR	114	228
384 kbps, CBR	76	152
512 kbps, CBR	57	114
768 kbps, CBR	38	76
1024 kbps, CBR	28	57
1536 kbps, CBR	19	38
2048 kbps, CBR	14	28
3072 kbps, CBR	9	19
3584 kbps, CBR	8	16
4096 kbps, CBR	7	14
8192 kbps, CBR	3	7

# アラーム入出力信号について

## アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

メモ： \_\_\_\_\_

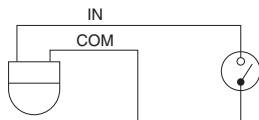
- [詳細設定]ページの[アラーム]ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[アラーム]ページ」をご覧ください。

- アラーム信号は 500 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

ご注意： \_\_\_\_\_

- 電圧を供給しないでください。



定格

ローレベル端子電流 : 5 mA 以下

ハイレベル端子電圧 : DC 3.3 V

## アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

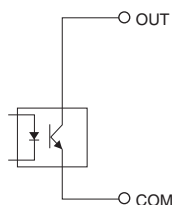
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっています。

メモ： \_\_\_\_\_

- [詳細設定]ページの[アラーム]ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[アラーム]ページ」をご覧ください。

ご注意： \_\_\_\_\_

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より OUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格

最大印加電圧 : DC 20 V

最大駆動電流 : 25 mA

# 動作環境

# ネットワークについて

## 推奨するパソコンの仕様

- OS : Windows 8.1 Pro, Windows 8 Pro, Windows 7 Professional (SP1), Windows XP Professional または Home Edition (SP3)
- CPU : Intel Core i5 3 GHz 以上
- メモリー容量 : 2 GB 以上
- ハードディスク : 512 MB 以上の空き容量  
空容量
- ディスプレイお : 1920×1080 ピクセル以上, True  
よびビデオカー Color (24 ビットまたは 32 ビット), VRAM 1 GB 以上を推奨
- Web ブラウザ : Internet Explorer Version 8.0, Version 9.0, Version 10.0, Version 11.0

### ご注意 :

- 推奨するパソコンの仕様欄に記載したバージョンの Internet Explorer 以外の Web ブラウザは、動作を保証するものではありません。
- Windows 8.1, Windows 8 のタッチ操作には対応していません。
- 統合ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワーを使ったときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してください。
- CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合がありますが、これは故障ではありません。  
カメラの設定によって、この症状を改善できることがあります。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード]ページ」をご覧ください。
- パソコンに内蔵されているサウンドカードによっては、再生音にノイズが入る場合があります。

## LAN 環境

- IEEE802.3 準拠のスイッチングハブなどで相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク
- PoE を使用する場合は、IEEE802.3af 準拠のスイッチングハブなど
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 準拠のネットワーク

- カメラが送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を越えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由でカメラを制御できなくなる場合があります。
- カメラが送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は約 40 Mbps です。
- 最大 20 クライアントまで同時サポート可能です。

## フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 3 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「付録 [マルチエンコード時の制約]」をご覧ください。

## JPEG ストリームのビットレート

1 枚あたりの JPEG ファイルのサイズは、エンコードの設定やカメラ映像によって異なります。“AFS”を選択した場合は、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。“VFS”を選択した場合は、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズはカメラ映像に応じて増減します。

1 枚あたりの JPEG ファイルサイズが 120 KB であれば、総ビットレートは次のようになります。

$120 \text{ KB} \times 15 \text{ fps} = 1800 \text{ KB/s} = \text{約 } 14.4 \text{ Mbps}$

複数のエンコーダーを使用している場合には、チャンネルごとに JPEG のファイルサイズが異なる設定も可能です。

例えば、ファイルサイズが 30 KB である JPEG を 2 fps、ファイルサイズが 10 KB である JPEG を 3 fps 送信している場合、総ビットレートは次のようになります。

$30 \text{ KB} \times 2 \text{ fps} + 10 \text{ KB} \times 3 \text{ fps} = 90 \text{ KB/s} = \text{約 } 0.72 \text{ Mbps}$

## H.264 ストリームのビットレート

H.264 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート)または CBR(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。

VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とも、目安としてのビットレートを設定できます。(64 kbps ~ 8192 kbps)

なお、H.264 Baseline は同時に複数のエンコーダに設定することができません。フレームサイズが 1280×720 以下でビットレート 1.5 Mbps 以下を 1 チャンネルだけ設定できます。

## 音声のデータ量

送信する音声データのストリーミング本数は最大で 2 本です。受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。音声データは 1 本あたり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps × 本数

ストリーミング本数は TCP で送信している本数(クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えばカメラが 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

64 kbps × 3 = 192 kbps

## ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、画像配信が遅延します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつカメラは送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

## ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、画像のフレームレートの低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## パケットロス

カメラから TCP で画像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされません。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

カメラからのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## 使用するプロトコル、ポート番号一覧

カメラでは下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/H.264 取得、Web 設定ページ、API、音声取得
TCP/554	RTSP
TCP/32040	アラーム送信
TCP/49298	音声データ受信
宛先	
TCP/ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/ユーザー設定番号	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP(メール送信)
UDP/123	SNTP
UDP/161	SNMP

## 運用プロトコルについて

### ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。

ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。

ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。

ユーザー名、パスワードの初期値は次のとおりです。

ユーザー名 : admin

パスワード : jvc

また、本機は ONVIF Profile S を満たしています。

# 映像について

## H.264 のプロファイルについて

本機は H.264 Baseline Profile と H.264 High Profile に対応しています。

High Profile は少ないビットレートで高画質を維持できますが、デコーダ側が High Profile に対応している必要があり、デコーダ側の処理負荷も大きくなります。

Baseline Profile は High Profile に比べ圧縮性能が劣りますが、デコーダ側の処理負荷は High Profile よりも軽減されます。

デコーダが十分な処理能力を持っている場合は High Profile の選択をお勧めします。

# 設定ページの言語選択について

設定ページ右上には言語を選択するラジオボタンがありますが、言語については使用しているパソコンの OS 環境に合わせて自動的に設定されません。もし英語 OS を使用中に“Japanese”を選択した場合、日本語環境がないために正しく表示されないことがあります。必ず使用しているパソコンの OS の言語環境に合わせて設定ページを使用してください。

- 設定ページについて詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。

Japanese  English(Custom)

メモ：

- 言語を設定すると、次回から設定した言語で表示されます。
- “English(Custom)”を選択したときの各設定ページの操作については、付属 CD-ROM の「VN-H557U INSTRUCTIONS」(英語)をご覧ください。ただし、各ページの工場出荷値は機種ごとに異なります。VN-H557 の工場出荷値は、“English(Custom)”を選択した場合でも、「取扱説明書」の記載どおりとなります。



# 各ユーザーが使用できるページについて

## ユーザー名とパスワードの入力

カメラにアクセスすると、ユーザー名とパスワードの入力を要求されます。

カメラにはアクセス権限のレベルが3つあり、工場出荷時には次のように設定されています。

- **admin**  
すべての操作および設定変更が可能です。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **operator**  
[基本設定 1]、[ネットワーク]、[プロトコル]、[アクセス制限]、[時刻]、[パスワード]および[メンテナンス]は操作・設定変更できません。  
[マルチキャスト]は操作可能ですが、設定変更はできません。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **user**  
画像の閲覧および一部の操作が可能です。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")

メモ: \_\_\_\_\_

- Internet Explorer からカメラにアクセスする方法については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。

## 各ユーザーがアクセスできるページ

各ユーザーがアクセスできるページは限定されています。また、設定ページ上のリンクの表示もユーザーのアクセス権限に合わせてアクセスできるページへのリンクのみ表示されます。

メモ: \_\_\_\_\_

- ページの一覧および詳細については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「統合ビューワメニュー一覧」をご覧ください。

### admin

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 1]	[ネットワーク] [時刻]
[基本設定 2]	[カメラ] [エンコード]
[詳細設定]	[カメラ] [エンコード] [音声] [アラーム] [アラーム環境] [FTP 記録] [SD カード記録]

トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[PTZ] [プライバシーマスク] [動き検出] [異音検出] [妨害検出] [ネットワーク] [プロトコル] [マルチキャスト] [アクセス制限] [時刻] [パスワード] [メンテナンス] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト]

### operator

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 2]	[カメラ] [エンコード]
[詳細設定]	[カメラ] [エンコード] [音声] [アラーム] [アラーム環境] [FTP 記録] [SD カード記録] [PTZ] [プライバシーマスク] [動き検出] [異音検出] [妨害検出] [マルチキャスト] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト]

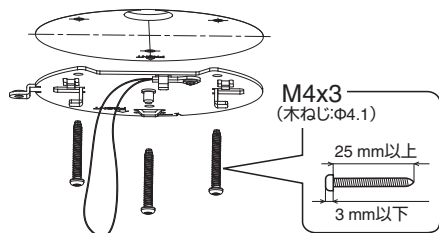
### user

トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[その他]

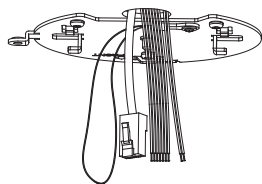
# 設置・接続の準備

- カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。
- 落下防止ワイヤー(天井用)は付属されておりません。事前に長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)などを十分考慮したものを使用してください。
- 落下防止ワイヤー(天井用)は強度のある場所(天井スラブなど)に取り付けてください。

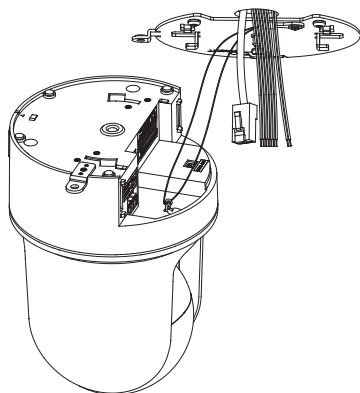
## 1 テンプレートを天井に配置し、天井取付金具をねじ3本で固定する



## 2 付属のテンプレートを使用し、接続ケーブルと落下防止ワイヤー(天井用)を天井裏に通す穴(φ25 mm)をあける



## 3 ケーブルカバーのアダプター側のつめを内側に押しはずしてから反対側のつめはずし、天井取付金具に取り付いている落下防止ワイヤーをカメラに取り付ける



## 4 電源ケーブルを接続する

- AC 24 V または DC 12 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続しないでください。次の手順へお進みください。

(※ p.19 [レンズにはあってある保護シートをはがす])

EM-EEF ケーブル(ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平)を使用した場合、接続距離は下表のようになります。(参考値)

導体直径(mm)	最大接続距離(m)	
	DC 12 V	AC 24 V
Φ1.0	18	57
Φ1.6	48	145

メモ:

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

ご注意:

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から同時に電源を入れないでください。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

### 注意

本機に電源を供給するには、AC 24 V 50 Hz/60 Hz、DC 12 V または PoE(IEEE802.3af)を使用します。正しい電圧で使用してください。AC 24 V または DC 12 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

## 5 レンズにはってある保護シートをはがす

ご注意:

- 作業中レンズに傷がつく恐れがある場合は、電源投入前まで保護シートをはったままにしてください。その場合は、必ず投入前にはがしてください。

## 6 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続してください。
- ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。

### PoE を利用する場合

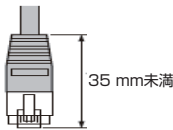
- LAN ケーブルで PoE 給電器に接続してください。
- 電源が供給されると赤色 LED が点灯します。
- PoE 給電器は、接地を確実にし、お使いください。

### 使用 LAN ケーブル

- STP(シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリー 5e 以上

ご注意:

- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。
- コネクタの長さが 35 mm 未満の LAN ケーブルを使用してください。コネクタの長さが 35 mm 以上のケーブルは、カメラの LAN ケーブル接続端子に取り付けることができませ



## 7 アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号名については、以下をご覧ください。

(☞ p.11 [I/O コネクタ])

- アラーム入出力について詳しくは、以下をご覧ください。

(☞ p.13 [アラーム入出力信号について])

- ① アラーム信号ケーブルの被ひくを 4 mm ほどむいて、I/O コネクタに差し込んでください。

### 使用アラーム信号ケーブル

- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG#28 ~ AWG#20 相当品

ご注意:

- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。

## 8 オーディオケーブルを接続する

- 事前に、オーディオ機器に接続するケーブルを別途用意してください。
- オーディオ信号名については、以下をご覧ください。

(☞ p.11 [I/O コネクタ])

AUDIO IN : プラグインパワー対応のコンデンサマイクなどからのケーブルと接続させてください。

AUDIO OUT : アンプ内蔵スピーカーなどからのケーブルと接続させてください。

### オーディオ機器との接続ケーブル(マイク入力・ライン出力)

- シールドケーブル推奨
- 長さ 5 m 以下推奨

## 9 モニターケーブルを接続する

- モニター出力を使用しない場合は、モニターケーブルを接続する必要はありません。
- 事前に、BNC ケーブルを別途用意してください。
- 付属のモニターケーブルを本機のモニター出力端子に接続し、モニターケーブルとモニターを BNC ケーブルで接続してください。

メモ:

- 使用中にモニターケーブルがはずれないように固定するなどをして、ご使用ください。
- モニター出力を使用する場合は、[エンコード] ページのモニター出力を「ON」に設定してください。
- 表示領域の広いモニターを使用した場合は、画面の外周部に線が見えることがあります。
- 卓上取り付け時に[取付姿勢]を「卓上」に設定した場合でも、モニター出力画像は上下反転した画像となります。

以上で設置・接続の準備は終了です。このあと、カメラ本体を取り付けてください。

(☞ p.20 [カメラ本体の取り付け])

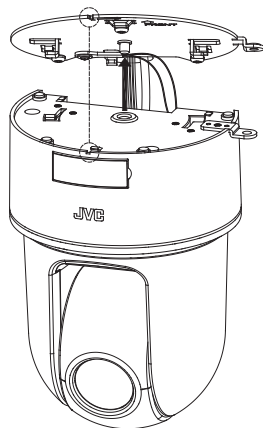
# カメラ本体の取り付け

## 1 SD カードを挿入する

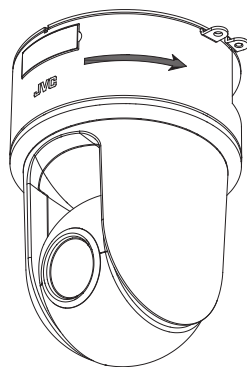
- SD カード記録をする場合は、事前に SD カードを挿入してください。

(☞ p.12 [SD カードの挿入について])

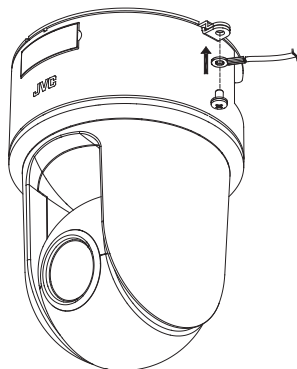
## 2 天井取付金具にカメラ本体を取り付ける



## 3 カメラ本体を押しながら挿入したあとに、カメラ本体を時計回りに回す



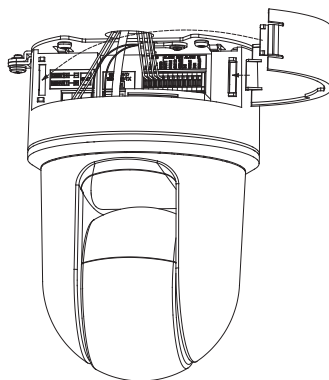
## 4 付属のスクリュー(M4)を使って、カメラ本体と天井からの落下防止ワイヤーを天井取付金具に固定する



ご注意:

- 使用する落下防止ワイヤー(天井用)は、長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)なども十分注意し、ワイヤー強度 150N(15 kg)以上のものを使用してください。
- ワイヤーは、カメラ本体に取り付ける輪の部分の内径が  $\Phi 4$  mm 以上  $\Phi 5$  mm 以下、外径が  $\Phi 9$  mm 以下、厚さが 2 mm 以下のものを使用してください。

## 5 ケーブルの接続が完了したあとに、中央の窓カバーが上になるように左右のつめを合わせてケーブルカバーを取り付ける



以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。  
(☞ p.21 [IP アドレスの設定手順])

# IP アドレスの設定手順

※ 本項目は、Windows 7/Internet Explorer 8.0 を基本に記述してあります。

カメラの IP アドレスを下記手順で設定してください。

## 【Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定】 p.21

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。



## 【Step2 Internet Explorer の設定】 p.22

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。



## 【Step3 カメラとパソコンの接続】 p.23

設定用パソコンとカメラを接続します。



## 【Step4 カメラの IP アドレスを設定】 p.24

[基本設定 1]画面の[IP 設定]項目を、“固定 IP”または“DHCP”に設定します。

ご注意：

- 設定変更の直後にリセットあるいは電源を切らないでください。変更した設定内容が保存されず、工場出荷時の設定に戻ることがあります。

# Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定

工場出荷時のカメラは“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。

(例えば IP アドレスを 192.168.0.100、サブネットマスクを 255.255.255.0)

ご注意：

- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

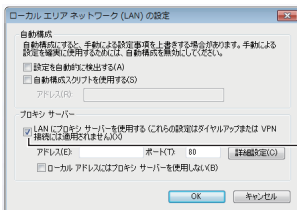
## カメラの IP アドレス(工場出荷時)

IP アドレス : 192.168.0.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ: なし

# Step2 Internet Explorer の設定

- 1 パソコンで Internet Explorer を起動する
- 2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

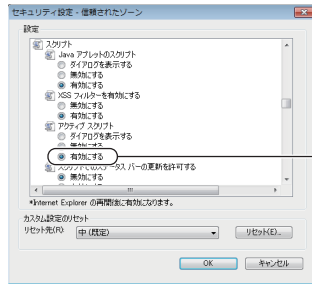
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定]の順に選択します。
- ② [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの [プロキシサーバー] 内の [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずします。



チェックマークをはずす

- 3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

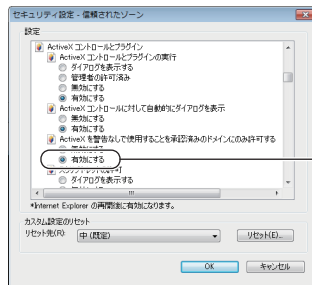
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択します。
- ② [信頼済みサイト [サイト]] ボタンをクリックし、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックマークをはずします。
- ③ カメラの URL をゾーンに追加します。カメラが工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。  
<http://192.168.0.2>
- ④ [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択し、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。
- ⑤ [セキュリティの設定] ウィンドウから [スクリプト]-[アクティブスクリプト] の [有効にする] を選択します。



[有効にする]を選択

- 4 Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。
- ② [レベルのカスタマイズ] ボタンを選択し、[セキュリティの設定] ウィンドウを開きます。
- ③ [ActiveX コントロールとプラグイン] の全項目を [有効にする] にします。また、[その他] にある [サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する] の [有効にする] を選択します。



[有効にする]を選択

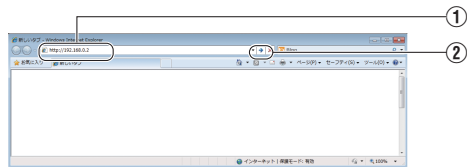
## 5 ポップアップブロックを無効にする

Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、カメラを接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

- ① [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべての Web サイトが許可されます。
  - ② 本機などの特定の Web サイトだけ許可したい場合には[ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを有効にする]を選択します。
  - ③ [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックの設定]を選択し、[ポップアップブロックの設定]ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。
- ## 6 プラグインツールを Internet Explorer に入れている場合、プラグインツールのポップアップブロック機能も無効にする

# Step3 カメラとパソコンの接続

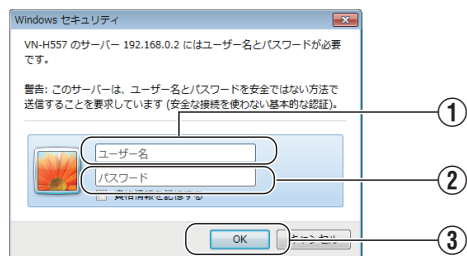
## 1 Internet Explorer を起動する



- ① IP アドレス[<http://192.168.0.2>] (例:工場出荷時)を入力します。
- ② [→]をクリックします。

- メモ: \_\_\_\_\_
- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。
  - 統合ビューワーを経由しないで[基本設定 1] ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に[基本設定 1]ページの URL を入力します。  
`http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html`
  - [セキュリティ警告]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

## 2 ユーザー名、パスワードを入力する (“admin”でログインします)



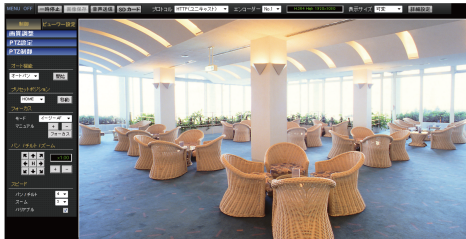
- ① ユーザー名を入力してください。(工場出荷時は“admin”)
- ② パスワードを入力してください。(工場出荷時は“jvc”)
- ③ クリックしてください。

メモ： \_\_\_\_\_

- [セキュリティ情報]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

### 3 カメラの統合ビューワーのインストール

- Internet Explorer で最初に統合ビューワーを表示しようとする、統合ビューワーのプラグインソフトウェアが本機からダウンロードされて、パソコンにインストールされます。統合ビューワー(IntegratedViewer.cab アドオン)のインストール画面が表示されたら、画面に従ってインストールしてください。
- インストールが終了すると、カメラの映像が表示されます。



#### カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスして設定・変更することができません。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

- 付属 CD-ROM 内の [TOOL\_J] フォルダにある“JVC-VN 検索ツール”を使用して、LAN 内のカメラを検索することができます。

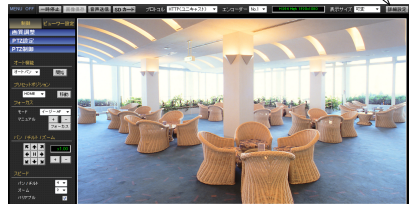
※ [JVC-VN 検索ツール]の詳細については、[TOOL\_J]フォルダにある Readme ファイルをご覧ください。

メモ： \_\_\_\_\_

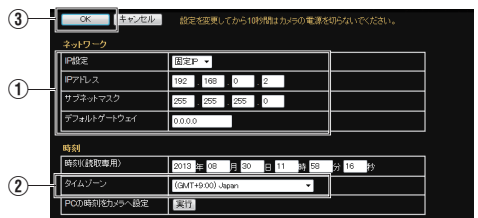
- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。
- 統合ビューワーがパソコン上で動作するために必要な設定は Cookie に保存されます。
- Cookie に保存される設定は、表示対象として選んでいるエンコーダの番号や表示サイズが等倍か可変かなどの統合ビューワーの動作に関わる設定であり、カメラの動作に関わる設定は Cookie に保存されません。

## Step4 カメラの IP アドレスを設定

### 1 統合ビューワーの[詳細設定]をクリックする



### 2 [基本設定 1]ページが表示される



#### ① [ネットワーク]項目を設定してください。

- “固定 IP”に設定する場合：

[ネットワーク]項目を“固定 IP”にし、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の欄に設定したい値を入力してください。

- “DHCP”に設定する場合：

工場出荷時は“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの[ネットワーク]項目を“DHCP”に設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意： \_\_\_\_\_

- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行ってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。



② [タイムゾーン]を選択してください。

③ クリックしてください。

メモ: \_\_\_\_\_

- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer のアドレスバーに下記の URL を入力すると、Step 3 の手順 2 にて“admin”でログイン後、統合ビューワーを経由せずに[基本設定 1]設定画面を開くことができます。  
例: `http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html`
- [セキュリティ警告]画面が表示されたら[はい]ボタンをクリックし、先に進んでください。

### 3 確認の画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックする

- 本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 2 分かかります。

メモ: \_\_\_\_\_

- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

#### 開いた画面の表示や構成がおかしい場合

以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]を開く
- ② [ディスプレイ]の[画面の解像度の調整]を開く
- ③ 解像度が使用しているモニタサイズ(推奨)になっているか確認する
- ④ 他の設定になっていた場合、[モニタサイズ(推奨)]に設定を変更し、[OK]ボタンを押す
- ⑤ [ディスプレイ設定]で[変更を維持する]ボタンを押す

## Internet Explorer を使った設定

Internet Explorer で画質設定、アラーム設定などを行います。



詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「Internet Explorer を使った設定」をご覧ください。

## 統合ビューワーの操作


カメラは、統合ビューワーを備えています。Internet Explorer で IP アドレスを入力することで、統合ビューワーが起動します。統合ビューワーは PTZ 操作などができます。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「操作」をご覧ください。

# こんなときは

-  : 症状
-  : 原因と対応

## 映像が出ない / 電源が入らない


本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）  
→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。  
（ p.18 [設置・接続の準備]）

クライアントパソコンが HTTP でカメラへアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？  
（ポート番号が間違っている場合は、統合ビューワの各種メニューは表示されるが、映像が表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。）  
→統合ビューワの HTTP ポートの値に、カメラのプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[プロトコル]ページ」および「[ユニキャスト]に関する設定」をご覧ください。

## PoE 給電機器で電源供給しても、電源が入らない

PoE(IEEE802.3af 準拠)給電機器とカテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルで接続していますか？  
→ケーブルを確認してください。PoE 給電機器（ハブなど）によっては、供給できるトータル電力の制限を越える台数の PoE 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。  
PoE 給電機器の取扱説明書をご覧ください。

## 一度電源が入るが、回転動作すると電源がすぐに切れる

本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）  
→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。  
（ p.18 [設置・接続の準備]）

## カメラの IP アドレスがわからない

工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

[IP 設定]が“DHCP”に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。

→同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC-VN 検索ツール”を使用して検索してください。

## カメラの設定ページを開覧できない

→Internet Explorer の設定を確認してください。また、プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。

## 統合ビューワをインストールできない / 統合ビューワを起動すると警告メッセージが出る

→Internet Explorer の設定を確認してください。統合ビューワは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワを使うときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから統合ビューワをインストールしてください。

## 統合ビューワをインストールするときに、VeriSign 社による認証が表示される

統合ビューワには VeriSign 社の電子署名が行われています。  
パソコンがインターネットに接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワの真正性を確認できるようになっています。

## 統合ビューワーに白い領域が現れる

一部のパソコンでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]を“中-125%”または“大-150%”に設定すると、Internet Explorer の中の一部の領域が描画されず白く残る場合があります。

→その場合は、下記の設定を行なってください。  
[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]で“小-100%(既定)”を選択する。

## Internet Explorer の画面表示を 100%から変更すると画面の一部が見えなくなる

Internet Explorer のバージョンによっては表示が見えなくなることがあります。

→Internet Explorer を終了し、再度 Internet Explorer を起動してください。

## カメラのオーディオケーブルに接続されているマイクの音声が聞こえない

→マイクとの接続をご確認ください。

音声送信中ではありませんか？  
([音声]ページの通信方式が半二重のときは、オーディオケーブルに接続されているマイクの音声を音声送信中に受信できません。)

→音声送信中は、ボタンがオレンジ色になります。その場合は、音声送信ボタンをクリックして音声送信を停止してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「統合ビューワー画面構成」の「音声送信」をご覧ください。

[音声モニタ]の[受信]が“OFF”に設定されていませんか？

→工場出荷時は“OFF”に設定されており、音声を受信できません。[音声モニタ]の[受信]を“ON”に変更してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[音声モニタ]に関する設定」の「受信」をご覧ください。

## マルチキャストの映像が再生されない

→カメラの[マルチキャスト]ページから手動でマルチキャスト配信を開始してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト]ページ」をご覧ください。

→統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、カメラの[マルチキャスト]ページの[宛先アドレス]および[宛先ポート]が、統合ビューワーの[マルチキャスト IP アドレス]および[マルチキャストポート]と一致しているか確認してください。またマルチキャストは IGMPv2 に対応したネットワークを使用してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト]ページ」および「[マルチキャスト]に関する設定」をご覧ください。

Windows 7 のファイアウォールによってマルチキャストがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
- ② [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く
- ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
- ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
- ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
- ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する
- ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する
- ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する

複数ネットワークカードを使用しているパソコンは、カメラと接続していないネットワークカードを無効にしてください。下記の操作にて実行できます。

- ① [スタート]-[ネットワーク接続]を開く
- ② カメラに接続していない接続を右クリックして“無効にする”を選択する

**TCP 送信される映像が再生されない**

カメラが TCP 送信できる映像の最大本数は 40 で、1 台のカメラへ接続できる統合ビューワーは最大で 20 個となります。

[JPEG 配信]の[優先度]が“フレームレート優先”モードに設定されていると、クライアントから要求されたフレームレートを維持しますが、最大配信数が少なくなります。

**表示される映像のフレームレートが低い**

→統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。

ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。

[JPEG 配信]の[優先度]が、“クライアント数優先”モードに設定されている場合、配信要求が増えると、設定したフレームレートより低いフレームレートで配信されます。

配信性能を越えた場合には、配信データ量の上限に収まるようにフレームレートを低く抑える配信をします。

**映像表示がなめらかではない**

CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合があります。  
また、SD カードの記録/再生/映像出力中は、配信能力が低下する場合があります。  
→[フレームサイズ]、[フレームレート]、[ビットレート]を下げた映像を確認してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード]ページ」をご覧ください。

**3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる**

3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。

**TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない**

Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。

→使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
- ② [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く
- ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
- ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
- ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
- ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する
- ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する
- ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する

→使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

**FTP サーバーに記録したファイル名が文字バケする**

→ファイル名に全角文字を使用する場合は、文字コードが EUC-JP の FTP サーバーを使用してください。

統合ビューワーの[画像保存]ボタンを押したときや、[動画出力(Y/M/D-h:m:s)]メニューの[動画出力]ボタンを押したときに、ファイルがパソコンに保存されない

→Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。

- ① Internet Explorer を右クリックする
- ② [管理者として実行]を選択する

## 自動的にパン動作をする

[オートクリーニング]が“ON”になっている場合は異常ではありません。  
 →[オートクリーニング]の設定を確認してください。  
 詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[メンテナンス]ページ」の「オートクリーニング」をご覧ください。

## パン/チルト/ズーム(PTZ)などの操作ができない

ネットワークの帯域が不足している可能性があります。  
 →十分な帯域を確保し、“100 M Full”で運用してください。

## 動き検出、異音検出、妨害検出が設定できない

検出機能を設定するとき、動き検出、異音検出、妨害検出については、同時に設定することができません。すでにひとつの検出が有効になっている場合、別の検出を有効にしようとするとエラーメッセージが表示されます。  
 →メッセージの内容を確認し、すでに設定されている検出機能を“OFF”にしてから、再度検出を設定してください。

## 異音検出設定時、“オーディオドライバーがインストールされていません”などの警告が出て、異音検出が設定できない

有効な再生デバイスがない場合、Windows 環境は利用可能なオーディオドライバーがないと判断します。  
 →再生デバイスを有効にしてください。

## SD カードに記録できない

→本機で使用できる SD カードを使用してください。  
 (☞ p.12 [本機で使用可能な SD カードについて])

SD カードがマウントされていないときは、記録ができません。

→[SD カード記録]ページのマウントボタンをクリックして、SD をマウントしてください。  
 詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[SD カード記録]ページ」をご覧ください。

VN-H37/VN-H57 シリーズでフォーマットした SD カードを使用したときに、映像の記録/再生ができない

VN-H37/VN-H57 シリーズでフォーマットした SD カードは、本機で使用できません。また、本機で映像を記録した SD カードは、VN-H37/VN-H57 シリーズで記録/再生することもできません。

## SD 操作画面が更新されない

SD カード操作画面と[詳細設定]画面を頻繁に移動すると画面が更新されないことがあります。  
 →[キャンセル]ボタンまたは Web ブラウザ上での更新ボタンを押してください。


## SD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する

電子感度アップ機能が働くと、感度を上げるために SD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動することがあります。  
 →[詳細設定]の[カメラ]ページで、電子感度アップを低い倍率に設定してください。  
 詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[カメラ]ページ」をご覧ください。

## SD 連続記録中にイベントリストから再生する場合、再生中に ボタンを押したときに時刻と画面の表示が一致しない

→再度、 ボタンを押してください。

## ボタンまたは ボタンを押したときに画面が真っ暗になったり、変わらなかったりする

フレームサイズやフレームレートなどが異なる設定のコンテンツが混在するときに起きることがあります。  
 → ボタンを 1 回押してください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

## 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

## 消耗部品について

下表の部品は使用にともなって消耗する部品です。記載の寿命時間や回数をめやすにメンテナンスサービスを受けることをお勧めいたします。これらの寿命時間や回数はめやすであり、使用環境や使用条件によって異なります。なお、メンテナンスサービスにともなって発生する部品代および技術料、出張料を含む費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命のめやす
レンズ部	
ズーム動作	約 10 万動作
フォーカス動作	約 20 万動作

## サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。  
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

## サービスについてのお問合せ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にて次のことをお知らせください。

品名	: HD ネットワークコンビネーションカメラ
型名	: VN-H557
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

## 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

# 仕様

## 総合

- アラーム入力 : 無電圧接点信号入力(500 ms 以上)、ローレベル時回路電流 5 mA 以下、ハイレベル時印加電圧 DC 3.3 V
- アラーム出力 : NPN オープンコレクタ出力(許容印加電圧 DC 20 V 許容流入電流 25 mA)
- プリセットポジ : 最大 100 ション数

## カメラ部

- 撮像素子 : 1/2.8 型 CMOS
- 最低被写体照度  
カラー時 : 0.9 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- 白黒時 : 0.7 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- ホワイトバランス : ATW-Wide/ATW-Narrow/ATW-Full/AWC
- 電子シャッター : 1/25(PAL のみ), 1/30, 1/50, 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, オート(1/30-1/100), オート(1/30-1/1000), オート(1/30-1/8000), フリッカレス
- 逆光補正 : 測光エリアは 4 種類から選択可
- カラーレベル : 調整可
- エンハンス : 水平、垂直両効き (レベル調整可)
- モニター出力 : VBS 1 V(p-p) 75 Ω

## 音声部

- 音声入力 : マイク入力×1  
プラグインパワー方式 2.50 V ±0.25 V DC(電源供給 ON/OFF 切り換え可能)  
インピーダンス 2.2 kΩ±0.2 kΩ
- 入力音声圧縮フォーマット : μ-Law(64 kbps)、量子化ビット数 8 ビット、サンプリング周波数 8 kHz、モノラル
- 音声出力 : ライン出力×1  
最大出力レベル 1.90 V±0.25 V (10kΩ 終端、0 dBfs 時)

## ネットワーク部

- 画像圧縮フォーマット : JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile
- フレームサイズ : 1920×1080、1280×960、1280×720、720×480(D1)、640×480、640×360、352×240、320×240
- ネットワークイ : 100 BASE-TX/10 BASE-T/インターフェース : FULL/HALF/オートネゴシエーション対応

## LAN 規格

- IEEE802.3、IEEE802.3u および IEEE802.3af 準拠
- 通信プロトコル : IPv4, HTTP, HTTPS, TCP, RTSP/RTCP/RTP, FTP, SMTP, DHCP, SNTP, SNMP, ICMP, UDP, IGMP, DNS, ARP

## レンズ部

- ズーム比 : 光学 10 倍, デジタル 10 倍
- 焦点距離 : 6.3 mm ~ 63.3 mm
- 最大口径比 : F1.8(WIDE 端) ~ F2.5(TELE 端)
- 包括角度 (16:9) : 水平 42°×垂直 24° (WIDE 端)  
水平 4.4°×垂直 2.5° (TELE 端)
- (4:3) : 水平 33°×垂直 24° (WIDE 端)  
水平 3.7°×垂直 2.8° (TELE 端)
- 最接近距離 : 約 0.3 m(WIDE 端)  
約 1.2 m(TELE 端)

## 回転機構部

- 水平回転範囲 : ±175° ノンエンドレス回転
- 水平回転速度 : 約 1°/s ~ 約 300°/s
- 垂直回転範囲 : -30° ~ 90°(卓上)  
90° ~ -30°(天吊り)
- 垂直回転速度 : 約 1°/s ~ 約 170°/s

## SD カード部

- SDHC カード(別売)
- Class10 以上対応の SDHC カード(16 GB ~ 32 GB)
- 動作保証温度 85 °C 以上のもの
- ファイル形式 : MP4 (ISO/IEC 14496-14:2003)
- 記録フレームサ : 最大 1920 × 1080 イズ
- 記録画質 : ビットレート最大 8192 kbps / 推奨 1024 kbps

## 総合

質量	: 約 1.1 kg
周囲温度	: -10 °C ~ 50 °C (動作) 0 °C ~ 40 °C (推奨)
周囲湿度	: 20 %RH ~ 90 %RH (結露なきこと)

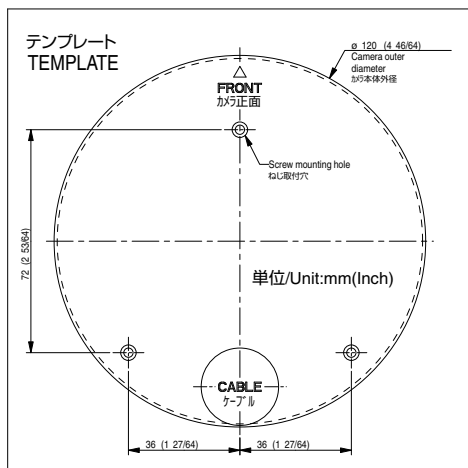
## 電源

電源電圧	: AC 24 V 50 Hz/60 Hz, DC 12 V または PoE
消費電流	
AC 24 V 電源	: AC 24 V 660 mA
DC 12 V 電源	: DC 12 V 1000 mA
消費電力	
PoE 電源	: PoE 12 W

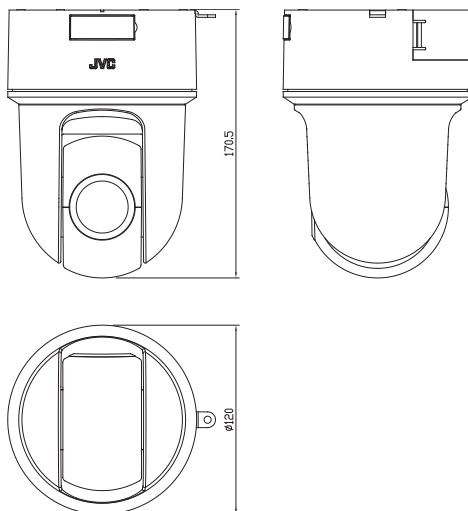
## 添付物・付属品

取扱説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
テンプレート	: 1
CD-ROM	: 1
天井取付金具	: 1
モニターケーブル(1 m)	: 1
スクリュー(M4)	: 1

## 天井取付穴[単位: mm (inch)]



## 外形寸法図[単位: mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。











**JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87  
携帯電話・PHS  0570-010-114  
一部のIP電話など 045-450-8950  
FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

**株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12